

高大連携通信

発行 兵庫県立神戸高等学校総合理学コース部

第3号 平成18年(2006年)6月2日(金)

「高大連携通信」作成に際して2003年から、フリーソフト OpenOffice.org を使って全て作成されています。(感謝)

今年も、2年生対象に高大連携講義「自然科学通論」を実施!

神戸大学企画の「高大連携講義」と神戸高校企画の「高大連携講義」

2002年度から行われている「高大連携講義」は、神戸高校2年生を対象とする特別講義です。この高大連携講義の目的は次のとおりです。

- ① 特定分野に閉じ込められた知識でなく、自然科学全体の理解を深めること
- ② 大学などの高等教育への進路決定の助けとすること

したがって、高大連携講義の目的から受講する条件¹として「全講義を受講すること」があります。頑張ってみようと思う生徒は応募してみてください。

2002年度に「神戸大学と神戸高校で行われた高大連携特別講義(試行)」として始まり、その当時は基本的には神戸大学キャンパスにおいて、神戸高校の生徒だけの講義として行われていました。2学期、3学期に毎月1回程度のペースで行われました。この試行段階での成果を得て、2004年度からは県下の高校生全体を対象とする「神戸大学の高大連携講義」へと発展したのです。

この神戸大学企画の「高大連携講義」は夏休み集中講座形式(8月第2週の4日間に1日3講義を行う)で行われるように変わりました。

神戸大学企画の「高大連携講義」と並行して、神戸高校が独自に企画する「高大連携講義」もスタートしました。現在の高大連携講義は、このような経過を経て発展し、今年で5年目になったのです。

2004年度より、「高大連携講義」の単位認定制度が発足

2004年度からは、「神戸大学の高大連携講義」計12講義と、神戸高校独自に企画した連携講義数回を合わせた「全講義受講した」生徒に対し、神戸高校における「現代自然科学通論」1単位として単位認定する制度が発足しました。

高大連携講義を受講したことが調査書等にも記載(成績は講義出席率等で評価)されますので高大連携講義に参加することの大きな励みになるものです。

また、2005年度から、神戸高校企画の高大連携講義については講義内容で1年生に理解できそうな講義(「2足歩行ロボット」など)に対して特別参加枠を設け、受講募集を行い、意欲のある1年生にも受講機会を設けました。今年もそのような機会を設ける予定です。

なお、今年の神戸大学企画の「高大連携講義」について、詳細が大学から届いていないので不明ですが、昨年同様の仕組みで高大連携講義が行われるように計画しています。

以上の高大連携講義に限らず、各大学、学部などが独自に主催する催し物(連携講義、セミナー、見学会など)についてはこの「高大連携通信」紙上でも紹介することもあります。大学のホームページに必ず発表されていますので、興味ある人は探してみてください。(志)

¹ ただし、理由によっては、公認欠席が認められる場合もあります。